

【訂正情報】

商品コード：110-2735

ISBN：9784820727354

機械設計の知識がやさしくわかる本

◎本書の記述において下記のような誤りがありました。訂正してお詫び申し上げます。

【2023年1月23日現在】

刷	頁	訂正箇所	訂正前	訂正後
↓本文				
1	P43	図 2.11 インデックスカムの動き	<p>※以下のとおり差し替え</p> <p>(c) ピンが溝からはずれ回転終了 (従動側45°回転) 従動側は回転終了</p> <p>(d) 溝から外れている間は停止中 従動側は停止中</p> <p>従動側 8, 7, 6, 5, 4, 3, 2, 1</p> <p>駆動側 (連続回転)</p>	
1	P48	図 2.16 のタイトル	歯車の回転速度比	歯車の速度伝達比
1	P51	図 2.18 のタイトル	ベルトの回転速度比	ベルトの回転比
1	P132	熱による伸びを表す線膨張係数 7 行目～	11.8×10 ⁻⁶ /°Cで、アルミニウム材料は 23.5×10 ⁻⁶ /°Cなので、	11.8×10 ⁻⁶ /°Cで、アルミニウム材料は 23.5×10 ⁻⁶ /°Cなので、
1	P132	熱による伸びを表す線膨張係数 10 行目～	一方、プラスチックのポリエチレンの線膨張係数は 180×10 ⁻⁶ /°Cと	一方、プラスチックのポリエチレンの線膨張係数は 180×10 ⁻⁶ /°Cと
1	P212	アルミニウム材料の標準化	汎用材には A5052 や A6062 を	汎用材には A5052 や A6063 を
1	P218	図 10.6 標準数 R10 当比数列の公比	$\sqrt[10]{10} \approx 1.60$	$\sqrt[10]{10} \approx 1.25$